（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスひまわり

公表日　2026年2月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・机上学習や個別支援を行う部屋と、体を動かす部屋を区分している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・人員基準を遵守した上で加配人員を配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・階段の手すりや、玄関の段差にすのこを設置している ・トイレや事務室など、視覚に訴える表示を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・サービス提供時間終了後に清掃、整理整頓、消毒を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		・クールダウン等の必要に応じて隔離されたスペース（相談室・事務室等）を使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・昼ミーティングと終礼で目標設定や振り返り等の情報共有を行っており、朝礼で日々確認を行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケート結果を共有し改善に取り組んでいる ・保護者とのコミュニケーションを図り、関係構築に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会議や日々のミーティングで職員からの提案や気づきを全体で共有し、必要と判断したものは取り入れて実践している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・外部評価は行っていないが、保護者目線でのアンケートを実施している	・必要があれば今後検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修への参加を積極的に行い、他職員への横展開を実施している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・昼ミーティングや終礼で児童の様子を共有しアセスメントを行っており、計画立案に反映している	・児童本人のニーズや意向をキャッチして反映していきたい
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援に関わる各職員の多角的な視点を集約して原案を作成し、認識を統一した上で原案の確認・修正を行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・保護者の同意が得られた計画は職員にフィードバックし、日々のミーティングでも計画に沿った支援となっているか確認を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・主にインフォーマルアセスメントを行っている	・客観的なフォーマルアセスメントを行うため標準化されたツールの導入を検討する
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・週ごとに定めたリーダーを中心にチームで立案を行っている	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・5領域を踏まえたプログラムを立案し、児童が飽きることのないよう工夫を凝らしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別活動と集団活動をプログラム内容によって組み合わせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼で支援内容を確認し、担当を明確化している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		・終礼で振り返りと情報共有、課題の整理を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・些細なことでも都度書き込めるよう設置している ・他職員の記録内容も目を通し、自己の視点の向上・確認にもつなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度または変化があった場合には適宜モニタリング会議を開催している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・原則児童発達支援管理責任者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・関係のある保健、医療、保育、教育との連携はしているものの体制整備までは至っていない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・サービス担当者会議だけでなく、日々の送迎時に支援内容や様子の情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じ書類や電話、対面などを通じて情報共有を行っている	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	―	―	―	―
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	―	―	―	―
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	―	―	―	―
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・公共施設利用時に交流を行うことがあるが、一緒に活動を計画はしていない。必要であれば検討する
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎日連絡ノートにその日の様子等を相互に記載している ・必要に応じ電話や連絡ツールを用いて情報共有を行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・個別に定期的な面談と随時相談の場を設けて行っている	・課題や対策を伝えるだけにとどまらず、伴走者として頼られる存在であり続けられるよう努める ・外部講師を招いての実施も検討中
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に内容の説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・利用開始時や更新時、モニタリング時期に責任者が説明を行い理解と同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談に対して適切に助言を行えるよう職員間での情報共有、意識統一を図っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に利用者家族と職員が参加できるイベントを企画し、保護者間の連携が図れる場を設けている	・希望しない保護者もいるため、負担とならない間隔や内容で開催を継続する
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・対面または電話等、保護者の希望や内容に合わせて速やかに対応している ・相談に対して適切に助言を行えるよう職員間での情報共有、意識統一を図っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・月間活動予定表を配信し、日々の活動の様子を写真や動画で保護者のみが閲覧・保存できるようにしている	・写真や動画NGの児童を誤ってアップすることのないよう公開時にはダブルチェックを行う
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きロッカーで保管し、掲示物では特定できないように工夫している	・見学などの来客時には特に注意を払い対応する
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・特性に合わせて視覚に訴えたり、時計を使って伝達している	・今後新たな特性を持った利用者が増えた際には都度意思疎通や情報伝達の方法を検討・追加していく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・招待はしていないが日々元気よく挨拶をしていることで、近隣からは受け入れられている	・招待イベントや地域イベントへの参加等について検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・利用契約時に周知し、新たに策定したマニュアルは文書で周知を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・避難場所までのルートや時間を事前に検討して定期的に行っている	・児童が慣れてしまわないよう訓練を行う理由をしっかり理解してもらうよう努める
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・利用契約時に確認を行い、その後も服薬の追加・変更等あれば連絡帳や送迎時に確認を行っている	・追加・変更等の情報提供漏れのないよう定期的にアナウンスしていく
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・指示書はないがアレルギー検査結果に基づいた保護者からの情報を、職員間で周知・共有している	・重要な情報であるため利用契約時にしっかりと聞き取ることが重要
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・周知を行い研修・訓練を実施している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		・策定時に文書とともに周知し、いつでも確認できるよう公開場所もアナウンスを行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・日々のミーティングですぐに共有し再発防止に取り組んでいる	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・委員会による社内研修や外部研修への積極的な参加によって職員の意識統一を図っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・利用契約時に丁寧に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載をしている	